



たまがわ



栄光の金ばれん 玉川村消防団に



第26回県消防操法競技大会で 北須釜分団が優勝

8月25日、2年に一度の県大会において、県下15チームが参加した小型ポンプの部で石川支部代表となった本村の北須釜分団が栄えある優勝を輝いた。

信じられぬ快挙を自らの当たりにした選手は、初めて手にする金ばれんをしっかりと握りしめ、誇り高き玉川村消防団の名が、陸上自衛隊郡山駐屯地営庭いっばいに響き渡った。

熱心に指導くださった須賀川広域消防組合の方々、そして勤務先、村民の皆さんに対し心から感謝申し上げます。(くわしくは10月号でお届けします)

| 今月のページ | |
|-------------|-----|
| 敬老の日特集 | 2~4 |
| がん予防、交通安全対策 | 5 |
| スナック | |
| 子供たちの夏休み | 6~7 |
| シリーズ企業の窓 | |
| (駒木根工業) | 8 |
| 東京精工寄付、生涯学習 | 9 |
| ふるさとを顧みて | |
| 救急の日 | 10 |
| 夫婦で子育て | 11 |
| お知らせ | 12 |

長生き
いろいろ

元気で見えほしい 65歳以上人口1000人

山小屋
石森キクヨさん(79歳)



楽しみなゲートボール

じつとしていのがいかにも窮屈そうな働き者の石森さん。現在八反歩のたばこ耕作の専従者と言ってよいほど、一年通して体を動かしています。足腰も丈夫で、仕事の合間をみてはゲートボール、高令者学級、夏のふるさと運動にも足を運ばず。ゲートボールの審判員として活躍、旅行先でも息子と同じぐらいの人たちと一緒に

なってゲームに熱中し、ゲートボールを考えた人にうんと感謝すんナイ」と大変喜んでいました。また十二月には、小学校に行つて昔話を語り熱心に聞く子供たちに感心しながら、毎日ひ孫さんと添い寝する子煩悩な人です。石森さん曰く、「のんき者だから」いやいややどうして、家族はもとより子供たちに慕われる元気なおばあちゃんです。

竜崎
佐藤重嘉さん(78歳)



運動は朝夕の畑仕事

気軽な格好で、新聞に目を通している佐藤さんに声をかけたところ、笑顔で迎えてくれた。ちょうど朝仕事の野菜の手入れを終えたところで、まだ衰えぬ骨格は現役そのもの。暴飲暴食を慎しみ、浪曲や歌舞伎を楽しみながら、運動がてらに朝夕の農作業を続けています。三十年間勤めた石材関係の仕事には、目を輝かしながらゼスチュアを交じえ、当時の思い出

を語ってくれました。また、三代夫婦のそろう佐藤さん宅。隠居の派手な障子破りから見ても、元気なひ孫さんにも意気盛んな家系の血が流れているんだなあと感じられました。現在、竜崎長寿会の会長さんになって二期目。リーダーシップをとるだけに、写真を一枚と声に、早速身仕度を整えダンディぶりを見せてくれました。

南須釜
増子サタさん(81歳)



送り続けるぞうきんの心

年に一回だけ学校へ来るんですよ」と校長先生を笑わしたとか。落ち着いた語りと表情に好感を感じながらも一人暮らしの長い増子さんは、子供達と一緒に暮そうと誘われても「丈夫なうちは世話にはならないよ」と言い切る気骨な人。でも、最近では事故の後遺症に加えて目を少々

悪い、ちよつと困った様子。若いころは、女丈夫で用事があると馬にまたがって道行く人を驚かす男勝りでしたが、終戦後六人の子供のうち四人が一度に病気にかかり、子育てには大変苦労したことも、毎年送り続けるぞうきんにこの思いが込められていると感じました。

岩法寺
佐久間倉蔵さん(91歳)



締めくくりは一合五勺の晩酌

佐久間さんは、村内の男性で二番目の長寿者。大病もしたことがなく耳が遠くなったものの、脚力も衰えず家の周りの草むしりや好きな花の手入れをして元気に暮らしています。現在でも酒たばこをたしなみ、一合五勺の晩酌は何よりの楽しみとか。長生きしてよかったことはとの問いに「世の中の開ける事が見られることだナイ」と昔では想像できなかっただけに、遠出

小学校と須釜中学校へ送り続けて今年で十年目になった。「子供は毎日学校へ行くが、私は一してはその様子を家族に告げてびつくりさせることもしばしば。趣味の彫物を前に、昔、屋大工や糸取り機作りを手掛けた器用な一面をのぞかせながら、農会議員時代の米検査員に従事し思い出を語ってくれました。「苦労はあつたげんちよおもしろかつたナイ」と話す佐久間さんの目に、当時の農業の情景が思い浮かべられました。

郷土の発展 を超える

九月五日は敬老の日。村内の六十五歳以上のお年寄りは、今年千人を超えました。幾多の苦勞を乗り越えてきた今、昔では予想できなかった事が次々に現われ、とまどいを感じる方も多いことと思えます。ひ孫の顔を見るのが容易になり、家を守り続けてきたおじいちゃん、おばあちゃんの思っていることを聞くことは、未来にとって大切なことではないでしょうか。高令の大竹ツ子さんを訪れ、帰る背に「大変だったナイ、ご苦勞様」の言葉に何んとも言えぬありがたさを覚えました。敬老の日を迎えるにあたり、村内のお年寄りの中から四人の方に登壇願いました。

昭和63年 玉川村長寿者20傑

昭和63年8月20日現在

| 男 | 順位 | 女 |
|----------------|------|----------------|
| | 最高齢者 | |
| 南須釜・増子恒吉さん(92) | | 川辺・大竹ツ子さん(102) |
| 岩法寺 佐久間倉蔵(91) | 2 | 北須釜 関根キヨ(94) |
| 南須釜 国井吉松(91) | 3 | 吉 有賀トモ(93) |
| 中 小針千吉(89) | 4 | 南須釜 有賀ミチ(93) |
| 山新田 真野目竹治(88) | 5 | 八木キヨ(92) |
| 山小屋 石森半三郎(88) | 6 | 山小屋 石森タカ(91) |
| 岩法寺 矢吹精助(87) | 7 | 北須釜 関根ソノ(91) |
| 吉 森 儀雄(87) | 8 | 岩法寺 石森クマ(91) |
| 川 辺 矢部丑五郎(87) | 9 | 竜崎 湯沢チヨ(90) |
| 南須釜 阿部徳太郎(87) | 10 | 中 高林キクヨ(90) |
| 中 小針千次(86) | 11 | 竜崎 石井イサミ(90) |
| 川 辺 吉田綱義(86) | 12 | 小 高 西島キク(89) |
| 高橋兼嘉(86) | 13 | 吉 森 イノ(89) |
| 竜崎 小林 栄(86) | 14 | 南須釜 大越サタ(89) |
| 佐藤吉一(86) | 15 | 小 高 車田シノ(88) |
| 南須釜 円谷房次(86) | 16 | 中 小林イネ(88) |
| 中 高林浅之助(86) | 17 | 南須釜 大野セキ(88) |
| 小針信作(85) | 18 | 中 角田ミセ(88) |
| 小 高 車田幸一(85) | 19 | 小 高 坂本チカ(88) |
| 四 辻 渡辺由松(84) | 20 | 川 辺 矢部キン(88) |

8月20日現在の年齢で生年月日順です。ご了承ください。

かな後
たしか老

長生きに欠かせない 健康と交通ルール

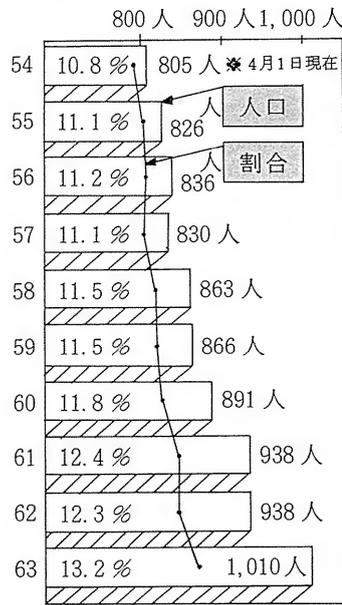
健康は 一生の財産

老人性痴呆症のように、一見健康そうでも、除々に心をむしばむ病気があります。後継に任かしたは良いものの、家族の話題に口をつぐみ会話の機会が少なくなることは、お年寄りにとって寂しいことではないでしょうか。中々表面に現われない心の病気も、他の病気と一緒にあって考えたいことです。

- ① 病気にかかりやすい
 - ② 一人の患者がいくつもの病気をもちことが多い
 - ③ 慢性の病気が多く、治療が長くかかりがちになる
 - ④ 再発や他の病気の併発を起こしやすい
- この四つのポイントを頭において、若いうちから日々の健康づくりを心がけていくことが大切です。栄養のバランスを考え、食事をとる、体操や散歩など

現在日本の平均寿命を見ると、男性が七十五歳、女性が八十一歳を超え徐々に延びつつあります。六十歳で定年退職すると、その後二十一年近くの人生があるわけですが、だれの身にも振りかかる老後。お年寄りのみならず社会の責任として、家族をはじめ広く世代を越えた思いやりが大切ではないでしょうか。そこで、特に注意したい健康と交通ルールについて触れてみたいと思います。

村内の65歳以上人口と総人口に占める割合の推移



の適度な運動をする、定期的健康診断を受けることなどを実行していききたいものです。

交通事故から 身を守ろう

お年寄りの歩行中の死亡事故の中でもっとも多いのが、道を横断している場合で、死亡者十人中、七人以上という割合に

なっています。

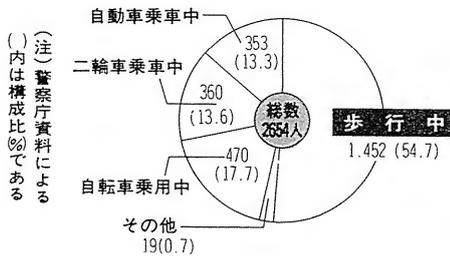
信号を無視してはいけませんし、横断しようとして、駐車している車の陰から道へ出ることも、事故の原因となります。あなたの目に車が見えているからといって、運転している人から、あなたが見えているとはかぎりません。また、自分の体力に自信をも

ちすぎないことも、交通事故から身を守るためには大切なことです。とくに、幅広い道路を横断するとき、今、信号が青だからといって渡るのではなく、もう一度青になるのを待ってから渡る余裕をもつことが、あなたの安全を守ることにつながるのです。

横断中の次に多いのは、道の左側を歩いているときです。車は左側通行のため、歩いているあなたの後ろから走ってきます。人間は後ろに目がありません。追い抜いていく車に、ひっつけられることのないように、必ず道路の右側を歩きましょう。

自分の体力を正しく判断して、とっさの動作を必要としないよう、交通ルールを守り、安全な生活を送りましょう。

昭和62年度 高齢者の死者数 (状態別)



(注)警察庁資料による (内は構成比%)

今年は何見してくれんだっペナイ……

村敬老会は

9月13日(火)です

達者でいいナイ

村では敬老の日になみ、九月十三日(火)午前十時から村体育館で敬老会を開催いたします。今年の招待者数は(七十五歳以上)は三百九十九人で昨年より六人多くなっています。そのうち八十歳以上は二百六人。七十五歳から七十九歳までの方には敬老祝金として三千元、八十歳以上の方には七千元が贈られます。また八十五歳以上の方には、県からの祝金五千元があわせて贈られます。なお、敬老会に先立ち、村長が九十歳以上のお年寄り(十六名)の方たちを戸別訪問し、記念品を贈呈します。敬老会にはぜひ元気を貸しておこしください。お待ちしております。

がんは 死亡原因のトップ 予防策を考えよう



9月1日～30日 がん征圧月間

がんは日本人の総死亡の四分の一を占め、死亡原因のトップとなっています。しかし健康増進・疾病予防（一次予防）や早期発見・早期治療（二次予防）を行うことによって、がんによる死亡を防ぐことが可能になり

ます。では、具体的に何をすればよいのでしょうか。

一次予防は

「火の用心」

● バランスのよい食事をする

● たばこやアルコールのとり過ぎに注意

● 高塩食品を避け、脂肪およびエネルギーをとり過ぎないようにする

● 熱すぎる飲食物、肉や魚のこげもなるべく避けたほうが良い

これらは、「がんにかからないようにする」予防で、火事であれば「火の用心」にあたります。

二次予防は

「初期消火」

● 毎年一回は定期検診を受診
● 主治医とともに疾病の早期治療・健康づくり

これらは、もしがんにかかった場合に「手遅れにならないようにする」予防で、火事であれば「火の用心」にあたります。

ふるさと玉川村に、何か恩返しをしたいと折にふれ話されていたことから、このほど亡き妻に代って寄せられたものです。

早速、このお金の活用方法について検討し、今年度建築計画

をしている玉川村保健センターの施設費に充て、村民の健康管理と増進のために役立たせていただくことになりました。

真野目さんのご厚意に対し厚くお礼申し上げます。

東京の真野目さん

がん予防にと20万円寄付

村民のガン予防対策の一部に

活用してくださいと、二十万円を寄付された方がいます。

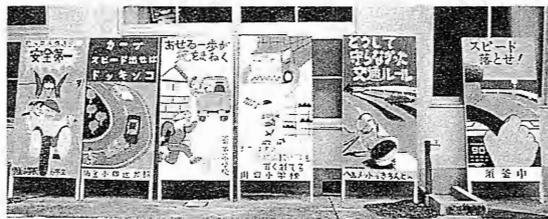
この方は、東京都大田区新蒲田在住の真野目金三郎さん（南須釜出身）です。このお金は、

昨年九月に亡くなられた妻ハツさん（小高出身、旧姓石山）が、元気なときお世話になっていた



増子さん夫妻 (昭和60年当時)

9/21～30 秋の全国交通安全運動



村内の交通要所に立てられた小・中学生の看板

ば「初期消火」にあたります。がんにかかっても、早期発見・早期治療ができれば、完全治癒となることも少なくありません。

あなたを守るのは、あなた自身です。あなたのため、そして家族や社会のため、積極的に健康づくりに励みましよう。

薄暮時は

確かな目と明るい服装

交通事故が発生しやすい薄暮時。過しやすい実りの秋を迎えだんだんと日が短かくなってきました。スポーツそして文化の秋は、日が暮れたからといって人の動きは止りません。なおさら交通も頻繁です。特に、夕方の点灯前の時間帯は、視力が低下してしまう人も人や物の発見が遅れ危険が伴います。

ゆとりある運転で早期発見に努める確かな目と、歩行者側においても明るい服装や光る物に身に着けるなど、お互いに安全策を講じたいものです。



届け交通安全の願い
セーフティ・イン・サマー '88(玉川一小)



夏は子供たちの

楽しかった夏休み

楽天地だ!

カメラ見て歩き



ソフトボール優勝の中チーム



ミニバスケットボール優勝の南須釜チーム

第一回玉川夏祭り大会は、前日までの雨が一気にあがり、まってきたとばかりにチビっ子たちが一番乗り。会場に作られた催し物に思い思いの体験をし、花火を見ずに眠った子供もいるのでは?。ふるさとに帰った皆さんにも、郷土の活気に心弾んだことでしょう。



やったぜベイビー! (うなぎつかみどり大会)



逃げられちゃった! 私もやりたいなあ

子供たちの花火大会の終了後、「おれ家の〇〇は、いくら言っても泣いてばかりだねちよ、先生とごさ行くどケロツとすんもんな」、間をいれずに「親にはトゲがあんだっぺえ」と言う答えに、一同しんみり。それからこそ親が子供を思う気持は、ひと一倍多感なのだ。球技大会に始った夏休み。子供を夢中にさせるもの、それは郷土を育てる大きな魅力です。気ままな子供たちの姿を、カメラで追ってみました。



子供じゃないけどオ・マ・ケ



勇ましいこの顔に注目! (チビっ子大声絶叫大会)



う〜んなるほど、そうして、こうしてと(ふるさと運動)



熱い応援を受けて 好ゲーム展開

第十七回玉川村少年球技大会は、八月七日須釜小学校において開催されました。好天に恵まれ、熱い応援を受けながら好ゲームを展開、その結果次のチームが入賞されました。
青少年の健全育成を目的とする行事の一環。さわやかな汗を流した心地よい一日でした。

◎ソフトボール
優勝 中チーム
準優勝 南須釜チーム
◎ミニバスケットボール
優勝 南須釜チーム
準優勝 川辺チーム



お父さん、きれいだね!



こっち、こっちだよ(児童館)



花火のきれいさにおもわず指も(保育所)

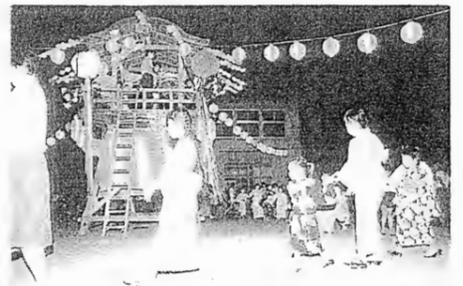


楽しいお遊戯(児童館)

ゆかたに身を包んだ子どもたちの目をくぎづけにした、保育所と児童館の花火大会。お母さんの温かい手に触れながら、無邪気にお遊戯をしたり目隠しに戸惑うことも。手作りの料理をほおばるほほえましい一幕も。

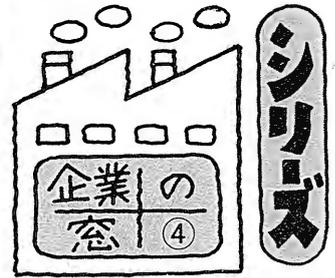


ハアア
踊り見に来たか
立見に来たか
ハアア
ここは立見の
場所じゃない
―八月十六日 小高と
北須釜の盆踊りから―





村内機械工業の魁 ベアリング一筋に半世紀



駒木根工業株式会社



代表取締役社長
駒木根 武夫

駒木根工業(株)福島工場は、戦中の昭和十九年工場疎開により玉川村(当時泉村)で操業を始めた。加工品のベアリングは、当時から、工場自体が海軍の監督下にありました。戦後は、いち早く民間需要に切り替えて現在のハイテク産業を支える先端商品となっています。手づくり等に等しいような時代から専用機による自動化。ラインと合理化に次ぐ合理化を重ね更にはNC化へと、高品質低コストと変革する社会のニーズに応える限りない追求と努力を続

会社の概要

| | |
|--------|----------------------|
| 所在地 | 玉川村大字小高 字六斗時22番地2 |
| 業種 | ベアリング(軸受) 内輪・外輪加工 |
| 従業員数 | 120名(男85名・女35名) |
| 創立 | 昭和12年4月1日 |
| 福島工場操業 | 昭和19年10月 |

けています。昭和五十二年から郡山工業団地内に塑性加工(鍛造)工場の操業を始め、材料から加工までの一貫生産体制をつくり、広く加工分野の開拓を目指しています。

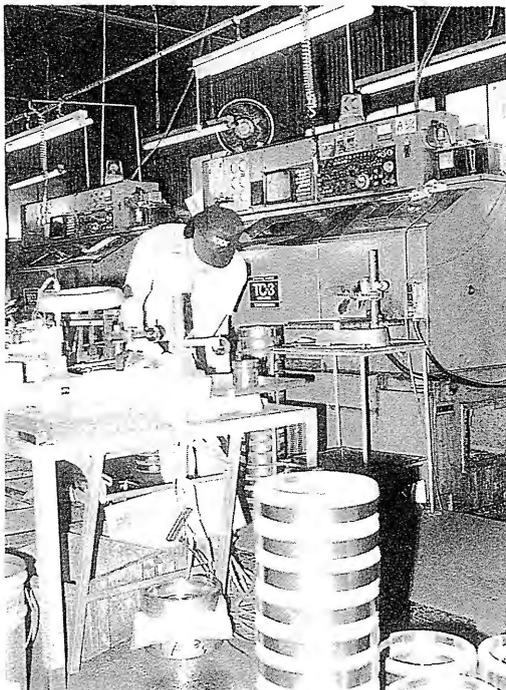
多目的ニーズに 応える生産体制

加工するベアリングのリング(レース)は、現在世界のトップレベルにあるNSK日本精工(株)で完成商品となって各分野で使用されています。自動車・機械はもとより、原子力産業・宇宙開発からコンピューター・医療機器・家庭電化製品まで、あらゆる回転部品に組み込まれ機器生命に不可欠の役割を果たして

います。要求される性能の一例を上げれば、回転による音響を抑えることはもとより、組み込んだ機器の寿命に対しても性能が低下しないよう、厳しい条件を踏まえながら研さんを重ねています。

伝統を踏まえ 新しさを求めて

従業員は、百二十名中、九十名近くの人が村内から通勤しています。年令構成では、会社の歴史が示すように永年勤続の人も多く、反面NC機械の増加、OA機器向け製品の拡大などにより、若い人たちが増えつつあります。会社と共に生きてきた実年の



次回は
日本精密加工(有)です

※NCとは?
コンピューターによる数値自動制御

先輩方から、働く者の精神(ワークマンシップ)を受け継ぎ、次代を背負う責任感と期待感をいだいて頑張っています。社内各種行事は、労使間の協議によって立案し実行されます。安全衛生委員会では、年次計画を基本として「会社からケガを開放しよう」を合言葉に『駒木根工業はケガの無い会社』を目指して、活発な安全衛生活動を展開しその実績を上げつつあります。

東京精工(株)

消防団に百万円 老人クに清酒百本 寄付する

八月二十二日役場村長室において、東京精工株式会社(篠原一三社長)から村消防団と老人クラブ連合会に対してそれぞれ寄付されました。

八月七日同社工場内からの出火に際し、村消防団の敏速な消火活動により大火に至らず、翌日から操業できたことに対してのお礼を述べるとともに、今後の消防団活動にと金百万円が手渡されました。また、老人クラブ連合会には、地域活動の労をねぎらってほしいと清酒百本を贈りました。

このたびの寄付金は、地域活動への理解を示されたものです。謝の言葉を述べました。



戸梶常務から寄付金を手渡される

参加者募集

第二回村長杯

ゴルフコンペ

第二回村長杯村民親善ゴルフコンペを、左記により開催しま

公民館

九月の行事予定

1~2日 第五回高齢者教室野
外研修(栃木県竜王
峡)

9日(金) 家庭の日作文審査会
11日(日) 第十五回役員ソフ
トボール大会

12日(月) 第三回青年教室
17日(土) 家庭の日作文表彰式
19日(月) 第五回婦人学級

第十二回 村内事業所 親善野球大会開かれる

村商工会主催の村内事業所親善野球大会が、八月七日村民グラウンドにおいて、参加七チームにより試合が展開されました。結果は次のとおりです。

優勝 玉川村役場
準優勝 商工会青年部

が、寄付を受けた村消防団の小原団長は、「村民の生命財産を守る消防団として、今回の寄付金の使いみちについては、充分検討の上、今後の消防団活動に有効に活用して行きたい」と感謝の言葉を述べました。

記

日 時/九月二十五日(日)

午前七時五十分集合

コース/すか川カントリークラブ

グOUT〜IN同時スタート

競技方法/18ホール ストローク

クラブレーオール6イン

賞品/優勝、準優勝、三位

二十位、飛賞、その他

参加資格/村内居住者に限定

会費/三、〇〇〇円

申込方法/村公民館で受付

申込期限/九月十七日(土)まで

に会費を添えて

社会が望む

新しい人間像とは?

村社会教育指導員 小林 豊 司

人の一生にはライフサイクルがあります。少年期、青年期、成人期、熟年期、高齢期と呼び方は色々あるが節目といわれるものです。少年期や青年期あたりでは学校教育の中にあり、この時期に特に必要なのは、学習方法を学ぶことにあります。これが今よく言われる「自己教育力」というもので、個人が秘めている力を發揮する学習となり、現代社会が要求している「新しい人間像」と言えます。

身近かな知りたいことから学習を始めよう
ところで私たちの日常生活の中で学習したいという大げさなことではなくとも、知りたい、やって見たいと思うことが沢山あるのではないのでしょうか。たとえば核家族化の中で出産育児、家庭教育のこと、みそ汁の味から家庭料理の味など学び取る場が身近かであったらと思いませんか。今、私に必要な学習は、か

生涯学習を 考える その2

また、ある大工さんの話ですが「最近、新建材や材木の種類が多く依頼人の知識も高いので、施工技術はむしろ新建材の勉強を怠るといい仕事ができな」と言っていました。が、これなどまさしく各々の職業に必要な生涯学習の姿なのです。

ただここで考えなくてはならないのは、何となく目にあわなく学習にとびつく雑学的な知識のみでよいのかということ。次回は人生のライフサイクルと目あて学習について考えてみようと思います。

ふる里を 顧みて



千葉県市川市

増子 忠道

(東京玉川会々員)

南須釜 増子忠義さんの弟

東京玉川会の発足に当り、玉川の名をお借りした青春時代を思い出しペンを執った次第です。黄金の波うつ田園 紅葉する山々、赤く色づく柿の実、栗拾

備えは
万全に

9月1日は
「防災の日」

災害は、突然として襲いかかる出来事です。ふだんから地震などに対する心の準備をしておく必要があります。いざという

ときに備え、それぞれのように行動すればよいか避難場所や危険個所について、家族で話し合うことを心がけましょう。

いやキノコ取りを楽しんだ子供の頃、月夜の下でコオロギや鈴虫たちのオーケストラ、夕焼けの空に飛び交う赤トンボの群。こうしたもののへの愛慕心は、故郷を離れて、都会に住み着いた者の特権かもしれせん。

みのりの秋が大好きな私の故郷は、須賀川市と石川町に隣接した玉川村で、三十二年三月私は中川株式会社市川工場に就職しました。職場は江戸川区の隣り、市川市に有り、工場のそばを流れる真間川堤の夜桜の美しさは見事なものです。故郷を築立って三十二年、その間会社は三度変りましたが、装身具製造という地味な仕事一筋に頑張っております。

『玉川みのり』と私

秋のなかのわたし

玉川みのり

秋は虫の音色です
ここらにころがる虫の音
あれは おさなき日への郷愁
——瞬わたしは子供になる
耳をすませてごどもになる

それから とうめいな空の蒼さ
ここらにながれ入る空の蒼さ
それは わすれたはずの哀しみ
——瞬わたしは僕になる
空をあるいてほくなる

そうして、白い菊の香り
ここらをやすぶる菊の香り
その香りは新妻の吐息に似て
——瞬わたしは男になる
妻を愛するおとこになる

9月9日は「救急の日」

命を運ぶ救急車 正しく利用しましょう

須賀川地方広域消防組合における救急出場件数は、昨年一年間で八百五十六件その数は年々増加しています。

「いのち」を守る救急医療は、私たちの大きな支えとなっています。家族の健康管理は基より、救急車の正しい利用方法についてもう一度考えてみましょう。



- ◎救急車を呼ぶときは……
 - 一九番が通じたら、次の事をわかりやすく落ちついて知らせましょう。
 - ◎通報者の氏名と電話番号
 - ◎来て欲しい場所の住所と、その目標となる建物など(著名な建物、ビル等)
 - ◎事故の内容
 - ◎傷病者の数、性別、年令
 - ◎傷病者の容態、状況
 - ◎救急隊が到着するまでは……
 - ◎周囲でできる応急手当
 - ◎かかりつけの医師があればそこへの連絡
 - ◎救急車のサイレンが聞こえたら案内に出る。
- ◎救急隊が到着したら……
 - ◎救急隊が到着するまでの傷病者の容態
 - ◎応急手当の内容
 - ◎持病があればその内容
 - ◎かかりつけの病院名または連絡のとれている病院名
 - ◎このような時は使わないで……
 - ◎軽い病气やケガで緊急に搬送する必要のない傷病者
 - ◎タクシーやマイカーで運べる傷病者
 - ◎ケガ等のない単なる泥酔者
 - ◎法定伝染病患者及び精神障害者

年金

六十歳からでも 任意加入できます

老齢基礎年金を受けるためには、国民年金の保険料を納付した期間や保険料の免除を受けていた期間が、二十五年の受給資格期間に一月でも足りないといえられません。

たとえば、今年度中に六十歳になる人は、特例により受給資

格期間が二十三年に短縮されていますので、過去に未納期間があり二十三年に不足する期間分を六十歳から任意加入すれば、老齢基礎年金が受けられます。

また、受給資格期間は満たしていても、未納のままになって

いる期間や十年以上経過して追納できなくなった免除期間があれば満額（六十三年度価格六二七、二〇〇円）の老齢基礎年金は受けられません。こんな場合も六十歳から任意加入することで、満額あるいは満額に近い年金を受けることができます。

将来、任意加入して保険料を納めなくて済むように、今から老後の生活設計をたて、保険料は確実に納めていくことが大切です。



救急方法の受講を

突然の事故や急病時には、どうしてよいか戸惑いますが、その時のために救急法を覚えておくは大変安心です。

消防署では、いつでも救急法の講習会のできる体制ができています。行政区、事業所など各単位でお申込みください。

詳しいことは、消防署（須賀川地方広域消防本部）まで出向くか、または電話でお問い合わせください。

☎〇二四八―七六一―三一一

昭和62年中における玉川村への救急出場件数

| 火災 | 水難 | 交通事故 | 運動競技 | 一般負傷 | 加害 | 自損行為 | 急病 | その他 | 合計 |
|----|----|------|------|------|----|------|----|-----|----|
| 2 | 1 | 29 | 3 | 8 | 1 | 1 | 32 | 1 | 78 |

夫婦で子育て

東京都立大学教授

詫摩 武俊

お小遣いをどう与えたらいいか、いくらくらいが適当かということが小学校の保護者会でよく話題になります。一年生の子供に月額一万円与えている家庭があるという話を聞いたたりすると、うちではどうしたらよいかと迷います。

母親の多くはお小遣いをたくさん与えるのはよくないと思っています。無駄遣いの習慣がつく、何でもお金で解決しようとする、というのが主な理由です。

小遣いをどう与えるか

子供を愛していない親が、愛しているそぶりをみせるために多額のお金を与えることがあるということも、母親たちは聞いています。なるべく少ないほうがいいと思うのですが、またお小遣いがなければ盗みをした子供の話も伝わってきます。迷いはまた大きくなります。

乗るとき、治療を受けるとき、ものを習うとき、いずれもお金が必要です。そのお金の意味を教えましょう。

つぎに値段と品質の関係を教えます。高い鉛筆と安い鉛筆は書くときの感じが違うはず。お小遣いの額は地域によっても学年によっても違います。担任の先生に様子を聞くとよいでしょう。

額を決めたら、その範囲内で子供が買ってくる品物には許容的に接してください。妙なものを買ってくることもありません。安物を買ってくることもありません。しかしそのこと自体が子供には勉強になるのです。数日し

て子供に後悔した様子が見えたときに、軽く注意すればいいのです。お小遣いの使い方にあまり注文をつけると、自分の欲しい品物を手に入れるために盗みをするかもしれません。

無計画に使用して困るのも一つのいい経験です。目的もなく貯金をさせるのはよくありません。お金は気持ちよく、楽しく使うものだというのもぜひ家庭で教えてください。

子供の小遣いについてはそれぞれの家庭で考えるべきことですが、自分の家だけの独自性を貫くことも実際には難しく、ま

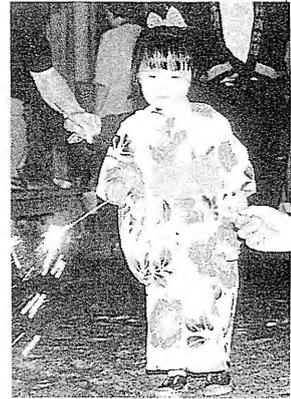
と迷います。

とこで小遣いを与えることの悪い面はどこにあるのでしょうか。我々の生活はお金と深い

関係が深い。品物を買ったときだけでなく、電車に



お知らせ



住宅統計調査にご協力を

五年に一度の住宅統計調査が、十月一日現在で全国約四百万の住宅及び世帯を対象として実施されます。住宅の現状と事情を把握して、今後の住宅関係施策の基礎資料となるものです。

本村においては、次の地区の一部が対象となりますので、調査員が訪問した際には、ご協力をお願いいたします。
◎調査対象地区
川辺、中、竜崎、北須釜

九月の在宅当番医

2日(日) 味原医院
大野診療所(石)

23日(金) 石川中央医院(石)
榑田医院(古)

18日(日) 大木医院

15日(木) 富永医院(浅)
矢吹医院(石)

11日(日) 鹿岡産婦人科医院(石)
原外科医院(石)

25日(日) 杏林堂医院
相楽医院(古)

9月16日~12月15日まで

はしか定期予防接種
原則として生後18ヶ月~36ヶ月までの間
・玉川村指定医療機関
・杏林堂医院
・味原医院

9月の健康ごよみ

9日(金) 1歳・2歳児健康相談
母子センター
午前9:30~10:00(受付)
9~10ヶ月児健診
母子センター
午後1:00~1:30(受付)
21日(水) 母親教室(第1週)
母子センター
午前9:30~9:45(受付)

今月の納税
・国民健康保険料(第三期)
・国民年金保険料(九月分)
納期限は九月二十六日(月)までです。忘れずに納めましょう。

お誕生おめでとう
ございます



(7月届出分)

| 地区 | 出生児氏名 | 保護者名 |
|-----|-------|-------|
| 川辺 | 大竹 涉文 | 大竹 勝重 |
| 蒜生 | 曲山 広之 | 曲山 勉 |
| 竜崎 | 橋本 浩和 | 橋本 甲市 |
| 南須釜 | 吉村 達也 | 吉村 嘉安 |
| 〃 | 大野 明美 | 大野 義明 |
| 北須釜 | 小針 健次 | 小針 隆一 |

おくやみ
申し上げます

(7月届出分)

| 地区 | 死亡者氏名 | 年齢 | 世帯主名 |
|-----|--------|----|-----------------|
| 川辺 | 芳賀 モト | 72 | 隆 雄 |
| 小高 | 関根 源一 | 90 | 直 英 |
| 南須釜 | 神山 トリ | 67 | 神山 勝治 (須賀川市) |
| 〃 | 塩沢 正常 | 70 | 正 勝 |
| 吉 | 有賀 利明 | 78 | 徳 夫 |
| 山小屋 | 石森 ナカ | 83 | 郷 政 |
| 〃 | 石森 キミヨ | 67 | 幸次郎 |

寄付
ありがとうございます

左記の方々から社会福祉活動資金として寄付をいただきました。厚く御礼申し上げます。

記

村のようす
(63年8月1日現在)

| | |
|--|-------------|
| | 1,573戸 (+1) |
| | 7,560人 (±0) |
| | 3,741人 (+3) |
| | 3,819人 (-3) |

- ・吉の有賀徳夫さんから 一 万円
 - ・山小屋の石森郷政さんから 二 万円
 - ・南須釜の塩沢正勝さんから 三 万円
 - ・山小屋の石森幸次郎さんから 一 万円
 - ・山小屋の石森 始さんから 一 万円
 - ・川辺の円谷善一さんから 二 万円
- (村社会福祉協議会)